

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 “全線開通した常磐道を通り、東北被災地の今を探る”
東北・南三陸方面視察会を開催
- 03 委員会報告
労働企画／経営研究会／経営教育
- 04 支部だより
県北／水戸／県西
- 06 6月は「環境月間」です
会員企業の主な環境事業のご紹介
- 09 茨城キリスト教大学寄付講座
「ソーシャルシフト経営に向けて」
株式会社カスミ 取締役人事総務本部マネジャー 生井義雄氏
「会計業の楽しさとは」
増山会計事務所 税理士 増山英和氏
- 11 常磐大学寄付講座
「今、皆さんに伝えたいこと」
水戸ヤクルト販売株式会社 代表取締役 内藤学氏
「自分で描く未来予想図」
株式会社ヒューマン・ブレンディ 代表取締役 田寺尚子氏
- 13 インターンシップ支援サイトをリニューアルオープン
「2015会員増強運動」の状況 ～会員数902社 一歩前進～
- 14 新入会員紹介
- 15 役員力③<葛田一雄>
「役員のローカルモデル」
- 17 NPO情報Vol.176<横田能洋>
「若者がひきこもりから脱するチャンスをつくるために」
- 19 セミナー・事業等のご案内

マッサンゆかりの蒸留所を含めた東北・南三陸方面視察会を実施 ／青年経営研究会・研修委員会の例会を開催



青年経営研究会(会長 磯崎寛也氏 (株) アイ・ティ・エイチ 代表取締役社長)は、研修委員会(委員長 藤澤昭彦氏 (株) つくばユーワールド代表取締役社長)の5月例会として、5月12日(火)～13日(水)、東日本大震災の被災地、南三陸を中心とした東北視察会を開催した。15名のメンバーが参加。

常磐自動車道は、今年3月に福島第1原発事故の帰宅困難区域を通る常磐富岡IC - 浪江IC間14.3kmが開通し全線が開通した。路線には空間放射線量を示す掲示板が設置されており、当日も常磐富岡ICの手前「ならばPA」での数値 $0.1\mu\text{Sv/h}$ が、僅か数キロで最高地点 $5.6\mu\text{Sv/h}$ まで急上昇したのを視認。バスの車窓には至る

所で汚染土を入れた黒いビニール袋が積み上げられている光景が映っていた。一方で、茨城-宮城の時間距離は著しく短縮されたことを実感。予定より早く仙台に到着し、途中青葉城公園に立ち寄る時間的余裕も生まれた。被災地復興の起爆剤として常磐道の果たす役割、期待感は大きい。

“マッサン”ことニッカウヰイスキー創業者・竹鶴政孝氏が、北海道余市に次いで蒸留所建設を決めた地が「宮城峡蒸留所」。同氏の「自然を大切にしなければ、おいしいウイスキーはつukれない」の想いをそのままに、土地の起伏や木々をそのまま活かし、建物はレンガ造り、電柱地中化と景観を重視、自然との共生を貫いた宮城峡蒸留

所。香ばしい男性的な香りが特徴の余市に対し、華やかで女性的な香りが特徴の宮城峡ウヰスキーを含味した。

南三陸町では、天皇・皇后両陛下も訪れている、津波で店舗などを失った商店主の方々が開いている仮設商店街「南三陸さんさん商店街」の運営組合長から、震災直後の町の機能消滅状態から始まった復旧復興の現状についてご説明いただいた。観光を拠り所とするこの商店街も、数年先には現在行政主導で進められている商店街向け造成地に移転することになる。人口が減少している中で、復旧と復興の意味を使い分けながら行政と住民との間での意見調整が続いている、復旧復興道半ばの現状を目の当たりにした。

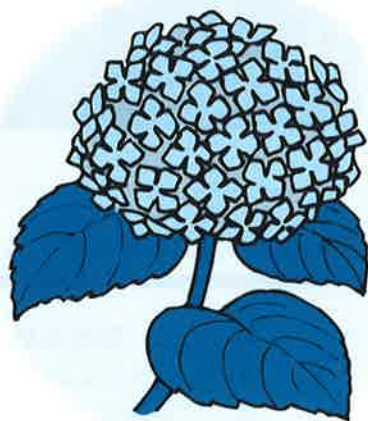
凶らずも、13日早朝に宮城県沖を震源とする震度5弱の地震が発生。瞬時“津波”を心配する経験をした後、「語り部バス」に乗り、語り部スタッフからの津波発生前後の生死を分けた避難行動を含めた生々しい解説とともに、震災遺構として保存する方向で進んでいる南三陸町防災対策庁舎をはじめとする被災地を見学。被災者の方々の心情を思い、防災対策庁舎等の写真撮影は控え

させていただいた。「数年後、またこの地に来て復興状況を確認していただくことが一番の復興支援です」語り部の言葉を胸に南三陸町を後にした。

その後、気仙沼市では東日本大震災の記録と津波の災害史を常設展示する「リアスアーク美術館」を見学。館長から「平均すると過去約40年に一度の頻度で大津波が襲来している三陸沿岸部の事実を忘れさせてはいけない」という同館の意義についての説明を受けた。

最後に、世界遺産・奥州平泉「中尊寺金色堂」を拝観し帰路に着いた。記憶に残る大変中

身の濃い2日間の研修視察会であった。



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

CROWN
"ATHLETE"
SERIES



クラウン アスリート

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



労働企画委員会

第6期「若手の人事労務担当者の勉強会」を開催 テーマは「働き方改革を考える」



労働企画委員会（委員長 館岡司氏（株）日立製作所電力システム社日立事業所副所長）は6月21日（木）、日立市・大甕クラブにおいて、第6期目となる「若手人事労務担当者のための勉強会」をスタートさせた。

本勉強会は、会員各社の若手の人事労務担当者が学び合いを通じて、労務管理スキルの向上と同世代の「仲間づくり」を目的として開催するもの。

第6期メンバーは23名。全5回の会合を通じて、各社の「働き方改革」について検討を加えていく。

初回の会合では、メンバーの自己紹介に引き続き、厚生労働省茨城労働局労働基準部長の佐藤靖夫氏から国としての「働き方改革」に向けての施策について

解説頂き、その後、第1期からアドバイザーをお務め頂いている安田尚道氏（常磐大学大学院教授）から「働き方改革と人事労務管理の変化ーポスト工業化、WLB、QOLとの関係でー」と題しご講演頂いた。

次回会合からメンバーを3チームに分けて、グループワークを行い、

9月の予定されている最終会合では、成果報告会を開催する予定となっている。

<第6期メンバー会社>

アサヒビール(株)、茨城トヨタ自動車(株)、(株)茨城木材相互市場、(株)NTT東日本ー南関東千葉事業部 茨城支店、(株)開倫塾、(株)カスミ、関東鉄道(株)、(株)ケースホールディングス、山九(株)鹿島支店、新日鐵住金(株)鹿島製鐵所、鈴縫工業(株)、関彰商事(株)、太陽日酸東関東(株)、(株)東京電機、(株)富田製作所、日本メクトロン(株)、日立アプライアンス(株)、日立化成(株)下館事業所、日立化成(株)新事業本部筑波総合研究所、日立国分機器エンジニアリング(株)、(株)日立製作所インフラシステム社、日立電鉄交通サービス(株)、ヤマダイ(株)

<今後のスケジュール>

- 第2回 27年6月18日（木）
13:00～16:30
会場：新日鐵住金・鹿島製鐵所（鹿嶋市）※10:00～12:00工場見学
- 第3回 27年7月2日（木）
13:00～16:30
会場：日立建機・土浦工場（土浦市）※10:30～12:00工場見学
- 第4回 27年8月6日（木）～7日（金）
13:00～16:30、16:45～19:00（懇親会）
宿泊、7日8:00現地解散
会場：「豊里ゆかりの森・森のセンター」（つくば市遠東676）
- 第5回 27年9月10日（木）
13:00～16:30（成果報告会）、
16:45～19:00（懇親会）
会場：アサヒビール・茨城工場（守谷市）



環境研究会

環境研究会27年度の事業活動について協議検討

環境研究会（代表幹事 大川泰弘氏（株）リーテム 業務改革委員）は5月22日（金）、当協会会議室において環境研究会幹事会を開催し、26年度事業活動報告および収支決算報告、27年度事業活動計画（素案）および収支

予算（素案）、役員（素案）について、報告・協議を行った。

本幹事会は、27年度の事業活動計画（素案）や役員（素案）などに対し、各幹事よりご意見求め、来たる総会開催に向け事業活動などを協議検討する会合。各幹

事からは「環境活動の取組みを実施してきたなかで、失敗してしまった事例などについて情報交換をしたい」「役員（副代表幹事および幹事）を増員してはどうか」などのご意見があった。各幹事から寄せられたご意見を加味

し、7月開催予定の総会に諮ることです承された。

◆環境研究会メンバー募集のご案内

環境研究会（通称・環境研）は、環境問題に対する企業の対応策

をお互いに研究していこうと、平成4年7月に設置された自主的な勉強会です。現在、18事業所の環境部門の担当者が参加し、環境教育・産業廃棄物処理問題など日常の悩みや課題に関する情報交換、環境行政担当者による県の重点施策の説明会、環境先

進企業の視察などを行っております。事業活動の内容など、興味のある方は下記までお問合せください。

Tel:029-221-5301、

E-mail: usui@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局（澤畑（英）、薄井）

経営教育委員会

茨城県経営品質協議会との共催により カルビー清原工場の見学会を実施

経営教育委員会では、茨城県経営品質協議会との共催により、5月19日（火）、栃木県宇都宮市清原工業団地に所在する“カルビー（株）清原工場”の見学会を開催し、25名が参加した。

同見学会は、先般3月24日に日立地区支部総会併設の講演会にてカルビー（株）の松本晃代表取締役会長兼CEOよりご講演いただいたご縁から、実際に工場見学させていただき運びとなった。

清原工場では、カルビーの主

力商品であるシリアル「フルーツグラノーラ」や「かつばえびせん」を製造しており、特にフルーツグラノーラは、同社で唯一生産している工場となる。各商品の原材料は世界中より調達され、安全・安心な商品の提供に向け、品質管理も徹底されている。

今回は製造工程の見学のほか、工場長はじめ製造・品質・安全・総務の各部門責任者との意見交換の時間も併設され、工場での“改善活動”“目標設定”“人材育成”“異物混入”等をテーマ

に、参加者との質疑が進められた。質疑は、予定の時間を越えて1時間30分にも及ぶなど、内容の濃い意見交換となった。



支部だより

JUN. 2015

Branch office report

県北地区支部

役員幹事会を開催

県北地区支部（支部長 三浦利春氏（株）茨城サービスエンジニアリング 代表取締役社長）は5月25日（月）、北茨城市「五浦観光ホテル」において、平成27年度第1回役員幹事会を開催した。

はじめに三浦支部長が「昨年度も役員幹事のみなさまのご協力を得て、会員増強に取り組み、当地区支部も純増となった。本日の役員幹事会では、ご入会頂いた方々に『協会に入って良かった』と思われる支部活動を行うため、忌憚のないご意見を頂戴し

たい」と挨拶した。

事務局から本年度より新たに支部幹事に就任した、明和電気（株）代表取締役社長の明智健太郎氏を紹介した。

引き続き、大高利夫幹事長（（株）中村自工深川製作所取締役工場長）の進行のもと、本年度の支部活動計画について協議がなされた。

協議の結果、①7月15日（水）、支部総会開催（五浦観光ホテル別館「大観荘」、総会記念講演「ガリガリ君 成長記一愛される商品の創りかた一」赤城乳業

（株）監査役鈴木政次氏）、②10月17日（土）、支部会員交流会開催、③12月、講演会開催、④28年1月、企業見学会開催、⑤28年2月～3月、行政との懇談会（講師は豊田北茨城市長）が決まった。



水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店代表取締役社長)の水戸地区支部人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株)常務執行役員総務部長)は、5月13日(水)茨城県産業会館研修室において平成27年度総会を開催し、今年度の活動計画案、役員体制などについて協議し、承認を受けて議事が終了した。

総会終了後には公開講演会が行われ、いすみ鉄道(株)代表取締役社長の鳥塚亮氏より「地域活性化に必要な発想とビジネス開拓～やる気を引き出すリーダーシップマネジメント～」と題するテーマで39名が

聴講した。

鳥塚氏からは、赤字路線であった同社を再建するために、攻めの積極経営をされた具体的な内容(人気アニメキャラクターとのタイアップ、物販の拡充、自費養成運転士制度の公募、駅名・鉄道命名権、グルメ列車等)などをご紹介いただきながら、自らが危機を乗り越えてきた体験



談なども交えお話をいただいた。

講演会終了後には、講師を交えて懇親会を開催し、メンバー相互の親睦を深め散会した。

県西地区支部

平成27年度第1回役員幹事会を開催

県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、5月26日(火)、ホテル新東において、平成27年度第1回役員幹事会を開催、13名が



出席した。

開会にあたり佐藤支部長から支部活動への協力の感謝を内容とする挨拶があり、続いて幹事の変更、事務局新担当の紹介がなされた。

その後、幹事長の小島守氏(関彰商事(株)執行役員人事部長)の進行で、上期に支部主催で開催するセミナー(経営研究会)や県西地区高校進路指導主事との産学懇談会の内

容についての報告と、工場見学会の具体化に向けて視察先の協議がなされ、埼玉県方面を前提に候補先が絞り込まれた。

また、事務局からは2015会員増強運動の状況、会員満足度調査の結果について説明を行い出席者の理解を得た。

【営業セミナー】
「主導権を握るセールストーク」
赤嶺哲也氏(トップセールス育成塾長)
7月22日(水)14:00~16:00
ピアスパークしもづま会議室

6月は「環境月間」です

会員企業の皆様も、期間中に様々な環境事業を展開しています

6月5日は環境の日（1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められた。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定め、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めている）です。

環境基本法では、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるという「環境の日」の趣旨を明らかにし、国や地方公共団体等において、この趣旨に沿った事業を実施することとしています。

本年も環境月間中に実施されている事業につきまして、会員企業より情報提供いただいた活動をご紹介します。

■ 経協会員企業の主な行事 ■

（社名50音順）

▽鹿島石油・鹿島製油所（鹿島市）

①6/1～6/30「環境キャンペーン」：環境月間のポスターを掲示する、②6/1～6/30「アイドリングストップの推進」：アイドリングストップの推進を行う、③6/1～9/30「緑のカーテン活動」：ゴーヤの栽培を行い、緑のカーテン活動を行う（省エネおよび従業員への癒しの提供）、④6/4「廃棄物置場施設調査」：廃棄物の分別排出状況の調査、分別排出標識の整備及び施設の点検を行う、⑤6/10「所内騒音測定」：所内16箇所騒音測定を実施する、⑥6/18「環境美化清掃の実施」：近隣行政区の空き缶・ビニール袋等のゴミ拾い清掃を実施する、⑦6/18「花いっぱい運動の推進」：所内花壇、職場花壇の花の植替えを実施する（マリーゴールド）、⑧6/19「樹木等の植栽状況調査」：所内の樹木等の育成状況及び病害虫の調査を行う

▽カスミ（つくば市）

①6/1～6/30「全従業員資源回収キャンペーン」：アルミ缶、ペットボトルの従業員回収の推進。店頭リサイクルボックスを従業員でも活用しリサイクル量を拡大する、②6/1～6/30「全従業員古紙（新聞・雑誌）回収キャンペーン」：全従業員対象の古紙回収キャンペーン。期間中毎週金曜日に古紙を物流の商品搬送車の帰り便で

リサイクルセンターへ運び、古紙業者様に引き渡し、リサイクルするキャンペーン

▽キヤノン・取手事業所（取手市）

①5/24「環境美化活動」：事業所の近隣周辺道路と利根川河川敷（堤防）の空缶拾いと清掃を近隣の自治会と合同で実施する（例年は6月に実施していますが、近隣小学校の運動会と日程が重なったために昨年から5月に実施しています）、②6/2～6/30「環境月間ポスター掲示」：事業所内にポスターを掲示し、啓蒙活動を呼びかける、③6/22「夏至ライトダウン」：事業所内の外灯のライトダウンの実施（環境省が2003年から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消すように呼び掛けている「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に参加）

▽キヤノンエコロジーイングダストリー（坂東市）

①蛍光灯間引き・エアコン冷暖房温度設定通達・休日／夜間の生産装置待機電力削減等による節電活動、②工場内および屋外の清掃・ゴミ拾いによる工場美化活動、③ノーネクタイ可等のビジネス軽装の実施によるクールビズの推進、④キヤノン株式会社主催のキヤノングループ環境月間イベントへの参加による弊社のリサイクル活動周知と他のリサイクル拠点との情報交換等を実施、⑤エアーフィルター清掃による節電と職場環境の向上、⑥外調機停止による節電、⑦エアーコンプレッサの夜間・休日停止による節電、⑧24時間温湿度管理室の空調機間欠運転による節電

▽キリンビール・取手工場（取手市）

①6/1～6/30「空調機フィルター清掃活動」：夏場に向けて各空調機の室外機及びフィルターの清掃を行う、②6/1～6/30「工場内“省エネキャンペーン提案”・表彰」：省エネ提案を重点的に提出するキャンペーンを実施し工場内に提出を呼びかけ優秀事例については表彰を行う、③6/18「工場周辺道路清掃活動」：取手市里親制度に基づき工場周辺道路のゴミ除去・草刈り・落葉清掃を実施する

▽ニコン・水戸製作所（水戸市）

①6/18「環境セミナー」：PM2.5に直面して～北京の現場で考えたこと～と題したセミナーを大井製作所で開催（講師：岡崎雄太氏）、②6/18「環境表彰」：環境活動に対して貢献のあった職場、グループ、個人を表彰、③6月「環境フォトコンテスト募集、環境川柳募集」、④6月「社内報」：担当役員挨拶等掲載、⑤6月「内部環境監査」：ISO14001に基づく内部監査を実施、⑥6/22・7/7「ライトダウンキャンペーン参加」：環境省主催ライトダウンキャンペーンに呼びかけ団体として参加

▽日立オートモティブシステムズ佐和事業所（ひたちなか市）

①5/1～「クールビズの推進」：ノーネクタイ、ノー上着での業務実施を推奨する、ご来訪されるお客様にも軽装を推奨する、冷房エネルギーを抑制する、②6月初旬～「グリーンカーテンの展開」：つる性の植物（ゴーヤ等）を執務室の窓に設置し暑気を防ぐ、③6月中旬「エコマイスター登録」：社内で環境に配慮した活動／行動をしている人やグループ（これをエコマイスターと規定）を募集し表彰する、④6/22～6/28「ライトダウン」：社屋の社名のネオン消灯、⑤6月下旬「工場周辺清掃」：工場周辺のゴミ拾いを実施する、⑥6月下旬「場内廃棄物置場の巡視」：廃棄物置場の分別状況、整理整頓状況を巡視する、⑦6月下旬「省エネパトロールの実施」：構内巡視により無駄を点検し改善する

▽日立製作所・電力システム社日立事業所（日立市）

①6/1「環境月間朝礼」：各職場一斉に環境朝礼を実施する、②6/1～6/30「環境特定施設の総点検」：大気汚染防止法、水質汚濁防止法などの環境特定施設、監視機器などを総点検する、③6

／1～9/30（予定）「節電キャンペーン」：生産現場、事務所での節電実施状況をパトロールする、④6/5「環境メッセージの放送」：環境の日を迎えるにあたって、事業所長メッセージを構内放送とイントラネット配信を実施する、⑤6月中旬（予定）「河川・通勤道路の清掃」：宮田川の周辺を清掃する。また国分工場周辺の道路を近隣の高校生と合同で清掃する、⑥6月下旬（予定）「事業所幹部による環境巡視」：環境リスクポテンシャルが高い設備等について事業所幹部による巡視を実施する

▽日立ライフ（日立市）

①5月初旬～10月末「環境啓蒙活動の推進」：環境月間ポスター及びクールビズ啓発用ポスターの社内掲示。なお、今年度も昨年に引き続きクールビズ期間を5月～10月に拡大してすでに実施中です、②5月末～9月末「グリーンカーテンの推進」：日立ライフグループ各拠点でグリーンカーテンを実施し、室温を3～5℃程度低減させる取り組みを実施中。（自然の効果を活用し冷房機器の使用に頼らず、夏の暑い日を快適に過ごすことをねらった取り組み）一昨年度より社内表彰制度も導入した、③6月末「環境かわら版（環境月間特集号）を発行」：1回/2ヶ月の頻度で発行している環境かわら版（A4版2頁）を環境月間特集号としてA3版2頁にして発行する、④6月末「環境クイズ」：環境かわら版（環境月間特集号）の中で社員及びその家族を対象に環境クイズを実施。全問正解者の中から抽選で記念品を贈呈、⑤6月末～7月初旬「CO₂削減／ライトダウンキャンペーンへの参画」：環境省が2003年より実施しております温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭での消灯を呼びかける「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン（6/22（夏至の日）、7/7（クールアース・デー／七夕）」への参画

▽ぺんてる・茨城工場（小美玉市）

①5/15「稚アユの放流」：工場内の最終槽（排水処理した水を溜めておく槽）に稚アユを放流し、処理水がきれいであることを確認します、②6/1～6/30「2014年度環境目標の実績及び2015年度目標の掲示」：昨年度の環境目標（CO₂、電力、水、燃料、紙、廃棄物、リサイクル率、エネルギー消費量）の達成状況と今年度の目標値を掲示し、全従業員の環境保全活動への自覚と更なる推進

を啓蒙する、③6/1～6/30「花いっぱい運動の推進、緑のカーテンによる冷房設定温度の1℃引き上げ」：自部署周辺の花壇の整備実施。併せて夏季暑さ対策の為、窓際にアサガオやゴーヤの苗を植えて直射日光を遮り冷房設定温度を1℃上げる、④6/1～6/30「エアコンフィルター清掃デー」：毎週金曜日はエアコンフィルター掃除の日、⑤6/1～6/30「エンジン式コンプレッサの清掃」：夏季のピーク電力（平日昼間の電力）消費を削減するためエンジン式コンプレッサの清掃を行います、⑥6/1～6/30「エア漏れ設備の表示」：エア漏れのある設備に表示プレートを表示し、エア洩れ修理が完了するまでは、その設備が不稼働の時はエアを遮断させる、⑦6/1～6/30「工場内環境パトロールの実施」：工場内の環境側面について環境管理責任者によるパトロールを実施し、不具合については是正処置を実施する、⑧6/1～7/6「環境保全活動壁新聞募集と掲示、テーマは環境関連全般」：各部署のQCサークル単位での環境保全活動に関する壁新聞を募集し、優秀な壁新聞については賞を贈るとともに掲示板に掲示する。今年のメインテーマは「節電」です、⑨6月随時「空調機・チャラーの清掃点検」：各現場の空調機等の清掃・点検を実施、夏場の電力消費の効率化を図る、⑩6月上旬「ホテル観賞会」：随時実施、⑪6月上旬「環境月間記念植樹」：工場緑化の為、環境の日に毎年一本植樹を行う、⑫6月未定「全社員工場周辺のゴミ拾い」：工場周辺の道路、側溝、林、運動公園、バス停などに捨てられているゴミや空き缶の収集実施、⑬6月未定「合同朝礼による環境保全啓蒙」：工場全体の合同朝礼時、環境保全活動についての啓蒙教育の実施。エコチェックシートでの全従業員への環境保全への意識付け、⑭9月期「排水管の清掃」：各職場の排水管の清掃の実施、⑮3月期「雨ドイの落ち葉除去」：作業の安全を充分確保した上で、各職場の雨ドイ、屋根部分の雨水排水口等の落ち葉の除去、清掃

▽リーテム（東茨城郡茨城町）

①5～6月「大学での環境講演活動」：学習院大学（5/8）で「国内資源循環のおけるリサイクル企業の役割」についての講演をしました。慶應義塾大学（6/17）で「電気・電子機器類リサイクルの環境政策」に関する講演をします、②6月「市民や学生の工場見学会」：弊社東京工場では修

学旅行で東京を訪れる学生を対象にリサイクルの工場の見学会を実施し、合わせて地球環境の現状やリサイクルの大切さなどわかりやすく説明します。6/5は岐阜県の中学生が環境月間中の東京工場へ見学に訪れます、③6月「地域クリーンアップ活動」：弊社がある茨城町の国道6号線を中心に従業員による清掃活動を行います、④6月「スーパークールビズ実施」：スーパークールビズ以外にも、エアコン温度を高めめの設定や、離席時はパソコンの電源をこまめに切るなどの節電を行います、⑤6月「エコドライブ促進のための活動」：年間を通しエコドライブに心がけるように社員に呼び掛けや講習会への積極的な参加をしていますが、特に6月はドライバーへの更なる意識付けとなるように他社での事例報告、各ドライバーの燃費データ等の報告などを行います、⑥6月「構内環境パトロールの実施」：毎月の定期構内安全パトロールに合わせ、6月は環境面での巡視を実施し、省エネや環境保全につなげて行く計画です、⑦6/22「環境省ライトダウンキャンペーン」：6/22(夏至の日)と7/7(クールアースデー)の両日のPM8時～10時までの2時間を特別実施日と設定し、照明の一斉消灯を実施します

▽レンゴー（坂東市）

①5/29「環境ポスターの配布」：6月から始まる環境月間についての周知、クールビズを活用した省エネの励行、②6月中毎週「廃棄物置き場のパトロール」：廃棄物置き場の3Sの実施、③6月中毎週「工場周辺のクリーン活動の実施」：工場前道路の清掃活動の実施、④6月末「環境マネジメントシステムのパフォーマンス確認」：環境委員会（毎月開催）において、省エネ・節水・CO₂排出量などを前年比ベースで確認する

ソーシャルシフト経営に向けて

株式会社カスミ 取締役人事総務本部マネジャー 生井 義雄氏

当社と茨城キリスト教大学さんとのご縁は深く、多くの卒業生が当社で活躍されています。遡れば、1977年に入社いただいた方が皆さんの一番の先輩で、昨年の新入社員160名のうち9名の方は皆さんの先輩です。また当社の社員食堂には、食物健康科学科さんと共同開発した“ヘルシーランチ”がメニューにございまして、社員からも大変好評で、当社社員の健康づくりにも寄与いただいています。

流通小売業を取りまく環境は、人口減少等の影響により厳しさを増しています。このような中、今年3月、当社を含めたスーパー3社の共同により“ユナイテッド・スーパー・マーケットホールディングス”という持ち株会社を設立しました。1社では成しえない新たな価値を創造するとともに、企業価値の最大化を目指し、インフラの相互活用や新業態の開発、機能集約等による経営効率の改善に取り組んでおります。

当社でも、小瀨会長の陣頭指揮のもと、“ソーシャルシフトの経営”を進めています。具体的には、従来の統制型マネジメントから、自立・自律型のマネジメントへと移行するなど、地域の1店1店が主役となり、従

業員一人ひとりがお客さまのために自ら考え行動する個店経営を目指しています。そして、物質的な価値よりも“共感”に価値を見出すとともに、新たなビジネスモデルを確立し、地域でも愛される特別なスーパーマーケットになることを全員で目指し取り組んでいます。

一方で決して変えないこともあります。それは創業以来50余年にわたり培ってきた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」を大切にする企業哲学です。社会貢献活動や環境活動にもこれまで以上に力を注ぐべく、“共感創造の森(笠間市)”での森林再生事業や、震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市の復興支援事業(子供達の教育振興や学校施設の復旧支援、地域の祭事開催支援)に取り組んでいます。

皆さん“分水嶺”という言葉をご存知でしょうか？雨水が異なる水系に分かれる地点を表す言葉で“物事の方向性が決まる分かれ目”の例えで使われます。社会に出ると、様々な



場面で、この分水嶺があることを頭の片隅に置いて下さい。明るく元気な挨拶が出来たか？出来なかったか？これだけでも人に与える印象は異なり、この1つの行動を起点に、あなたが他人に与える第一印象は大きく変わります。明るく元気な人だな！と良い印象を与えたか、声が小さい暗い人なのかなと、マイナスな印象を与えたか、本人にはそのような気はなくとも、挨拶という何気ない行動ひとつが、あなたの印象を決めてしまう大きな意味があるのです。本日、こうしてお話させていただいた事が、皆さんにとって少しでもお役に立てれば幸いです。

会計業の楽しさとは

増山会計事務所 税理士 増山 英和氏

ここ数年、寄付講座にお招きいただき、学生さんから「会計業の仕事の楽しさはどのような点ですか？」とご質問をいただきます。

業務では、集計の際に表の整合性（数字）がピタッと合った時は、やはり気持ちが良いものです。が、会計業の楽しさの本質は、社長様含め、色々な方々と出会い、対話をしながら課題解決を進めるなかで、その会社さんが元気になり、そして私自身も新たな発見を得たり、“気づき”をいただけることだと思います。この部分はどのような仕事にも共通するのでしょうか。

また個人的なお話になりますが、収支的に厳しい状況であった会社さんにご縁があった一緒にお仕事させていただいた時、色々としんどい決断をしながらも、何とかその会社さんが軌道にのって一段落した際に、社長様から「増山さん、あなたに言いたいことがあるんだ」と切りだされまして、私は内心“何か失敗してしまったかな…怒られるかな…”と思いました。その後、社長さんから言われた言葉が私は忘れられません。「増山さん、あなたにもっと早く出会っていたら良かったのに。会社を救っ

てくれて本当にありがとう」と言われました。その時は照れくさくて、いつもの調子で「こちらこそお世話になりました」と挨拶をして、自分の車を停めている駐車場へ歩みを進め、運転席に座った途端、とても嬉しくて涙があふれてきました。“自分の仕事がお客様のお役に立てた”“必要としていただいた”そんな思いが心を駆け巡りました。

最後に、これから社会へ旅立つ皆さんにいくつかアドバイスをお伝えします。

就職活動の際は、受ける会社の“経営理念”を是非調べて下さい。面接の際「御社の経営理念は？」と逆に質問するぐらいで構いません。経営理念のない会社はお薦めできません。

また社会に出ると“現場”の大切さを痛感します。決算書など紙の上の数字を見ているだけでは分からない、大切な答えが現場にあることを頭の片隅に入れておいて下さい。これもどんな仕事にも共通することだと思います。“現場主義”を忘れずに。

“コーチング”も大切です。



課題に取り組んでいる人にそのまま答えを与えるのではなく、寄り添いながら、自ら解決できるよう“気づき”を与えることです。私の仕事でもこれは大切です。課題と一緒にチャレンジして解決策を導くことが、双方にとって非常に大切なのです

皆さんに大正時代の社会教育家、後藤静香さんの詩をご紹介します。「『第一歩』十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう 三笠山にのぼる第一歩 富士山にのぼる第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう どこまで行くつもりか どこまで登るつもりか 目標がその日その日を支配する」。自分なりの目標を設定し、その覚悟が定まれば、日々の行動や心構え、それらに向かう態度も自ずと決まると詠っています。是非未来に向かってチャレンジして下さい。

「今、皆さんに伝えたいこと」

水戸ヤクルト販売株式会社 代表取締役 内藤 学氏



私は高校まで水戸で過ごし、(株)電通での約20年間の勤務を経て、現在水戸ヤクルト販売の社長に就任した。ヤクルトは、代田稔博士が世界で初めて生きたまま腸に届く乳酸菌の強化培養に成功したことから始まっている。今年がヤクルト創業80周年に当たり、現在世界33か国で一日あたり約3,500万本が飲まれている。

水戸ヤクルト販売は、ヤクルト本社とフランチャイズ契約を結んでいる関係にあり、担当エリア人口は約126万人である。資本金は3,000万円、売上高は約45億円、社員数は60名、ヤクルトスタッフは700名を擁している。

最近のわが社のトピックスベスト2を紹介すると、第1位は、主力ヤクルト乳製品の伸長率が全国105の販売会社中、第1位になったことである。第2位は、わが社が小学校に行ってきた食育教維持事業に対して、内閣府より、民間企業初「チャ

イルドユースサポート章」を受賞したことである。

私たちの先祖(父・母)を10代遡ると、父母の合計は約1,000人になる。さらに20代遡れば約100万人になる。このうちの一人でもいなかったら

私たちは生まれてきていない。私たちは、それほど奇跡的な存在であり、一人ひとりの使命(役割)を全うするためにこの地球に生まれてきたといえる。就職活動は、そんな自分を哲学する第一歩となる貴重な時間である。企業の面接試験でも自分の使命や役割を反映させた志望理由を述べたほうがいいであろう。

では、会社の存在理由・使命とは何か。それは、社会の課題を解決することである。つまり、会社の存在理由は社会貢献である。どの会社にも、依って立つ企業理念がある。水戸ヤクルトの企業ビジョンは、「健康で美しく。免疫ライフ創造パートナー」である。

2013年の顧客満足度企業ランキングの1位は、東京ディズニーリゾートである。ディズニーが提供するものは、「人々に幸福と知識を与える場所」である。これらを見ると、顧客満足の流れは、利便志向ではなく、

モノからコトへと変化している。たとえば、iPodは、モノではなく、簡単に取り扱えて持ち運びがしやすい音楽というコトを提供している。アップルのスティーブ・ジョブスは、「音楽を聴く行為を全く違った体験に変える」ことを目指してiPodを開発した。

今、水戸ヤクルトが取り組んでいることは、お客様との「コト」の共有であり、たとえば、お客様感謝の会や、愛の定期便活動、福祉ヤクルトによる寄贈活動、施設への慰問活動を行っている。最近では、水戸市安全安心見守り隊および茨城県がん検診受診率向上プロジェクトに調印したり、創業45周年企業広告、スポーツオニゴッコ協賛やピンクリボン運動、志村大宮病院入所者へのヤクルト飲用効果測定などを進めている。

最後に、夢実現の本質とは、未来のあるべき姿を具体的に描き、宣言し、やるべきことを逆算し、今日から実行し続けることである。夢・目標を明確にもつことがすべてのスタートである。私の夢はお客様の「免疫力」アップによって、日本の健康寿命を平均寿命に近づけることであり、当社が「日本一愛され、必要とされ、役に立つ会社」にすることである。ぜひ皆さんも夢の実現のために今日から努力して行ってほしい。

「自分で描く未来予想図」

株式会社ヒューマン・ブレンディ 代表取締役 田寺 尚子氏

私は、大学卒業後、都内の大学病院の秘書課に勤務し、20代で結婚、出産を経験し、その後30代でアナウンススクールおよびヴォイストレーニングを行い、ラジオのパーソナリティとしてデビューするとともに、トークショーや披露宴の司会者として1,000組以上の司会を務めてきた。さらに講師業をスタートし、新入社員研修を請け負うなどしている。その一方で、心理学を学び、産業カウンセラー、コーチ、交流分析士、経営士などの資格を取得し始めた。仕事と育児をしながらなので、これには隙間時間を活用した。そして2013年に会社を設立し、都庁、茨城空港、ミッドランドスクエア、ララガーデン長町、茨城県の中小企業などで「伝わる研修」を大切に活動を展開している。シンボルマークとしている四つ葉のクローバーの花言葉は、「誠実、希望、愛、幸運」の4つの意味である。ここから、誠実な気持ちで、希望の持てる愛あるカウンセリングを行うことを会社のコーチングの基本理念としている。

このような経験を通じて皆さんには将来の「なりたい自分」を明確にイメージすることの重要性を伝えたい。そのた

めには、まず強みや弱みといった自分の現状を自己分析する必要がある。そしてなりたい自分と現実の自分のギャップを埋めていくためには、「目標の細部化」を行い、小さな達成を繰り返すことである。考えているだけでなく行動しなければならない。人間は意識して行動を選択している部分は5%しかないといわれる。つまり、95%は無意識の行動である。そのため、まずは、意識にあがったことから目標を設定し行動する事を意思決定する事が大切である。そしてそれを「実際に行動する」。分析や検証をしながら、それを「習慣化」していくことで、ギャップは埋まっていく。

自己分析の手法にはいくつもある。交流分析やEQ、自分の可能性探しのブレインストーミングを自分で行うことも良い方法である。ただし、WhatとHowを考えた方が前向きな分析を行うことができ、自分の内面にあるものを引き出すことができる。これに関して、セルフコーチングに「6W3H」がある。What, When, Who, Where, Which, How,



How muck, How many を考える手法である。

人間の心理状態は声、態度、表情、視線に表れる。そのため、これらについて自分はどうなっているかをチェックすることも大切である。これらを「見る力」を養うことで、自然に「見られている自分」を意識するようである。人間の心理状態は揺れ動くものである。したがって、自分が立ち直る方法や自分にとって心地よいものは何かも知っておいた方がよい。その際、心理学の「リフレーミング」によって、無意識のうちに考えてしまう思い込みを意識的に変えることも有効である。

皆さんが面接に臨む際には、自然な笑顔、自然なコメント、そして「内面を整えた自己表現」を行えるように、そして明確・明瞭な言葉を用いるように心がけてほしい。

インターンシップ支援サイト 「インターンシップMAP」をリニューアルオープン

インターンシップ受入事業所を募集しています

当協会では平成11年から、大学・短大・専門学校等および行政からの要請を受け、若年者の就業意識の向上やミスマッチの軽減を図るための「インターンシップ」実習先の募集、広報を行っております。本年度につきましても、大学等からのインターンシップ受入企業等の情報提供を求める声は依然として強いことから、昨年度に引き続き、インターンシップをお受入頂ける企業等の募集、広報を行うこととなりました。新規または継続して学生の受入れにつきましても、ぜひご検討を頂きたくお願い申し上げます。インターンシップを受入れ可能な場合は、下記担当者までご連絡をお願い申し上げます。



また、このたびインターンシップ受入事業所を広報するためのサイトをリニューアルオープン致しました (<http://www.ikk.or.jp/intern/home.htm>)。

5月28日(木)、常磐大学のインターンシップ講座に事務局の平澤周が、当協会のインターン支援事業の概要を広報するため出講した。平澤からは、今夏のインターンシップ受入事業所の特徴や学べるスキル等の説明や、リニューアルオープン予定のインターンシップ支援サイトの活用法の他、自身の大学生活、就職活動を振り返りながらキャリア形成のためのインターンシップ実習先の選択のポイントについて解説した。

インターンシップ受入れ等に関するお問い合わせは、事務局（平澤、後藤）までお願いします。
TEL 029-221-5301 E-mail hirasawa@ikk.or.jp

『2015 会員増強運動』の状況 ～ 会員数 902 社 一步前進 ～

項目	支部										合計
	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行		
26年度未会員数	39	94	80	259	133	66	71	53	103		898
入会数		1	3	6	2						12
退会数		1	2	2	1		2				8
会員数	39	94	81	263	134	66	69	53	103		902
										前年度比	4

() は支部間移動の数：今年度入退会数の内訳合計には含めていない。

平成27年度目標	950
----------	-----

目標比	-48
-----	-----

新入会員紹介

株式会社ITS

■代表取締役 高貴 修



Data 所在地／水戸市見川町2131-925
T E L 029-291-5293
F A X 029-291-5296
業 種／ホームページ制作、
各種デザイン、
イベント開催
従業員／7名

Appeal point 2008年マーケティングとデザイン性を融合させたWebサイトを制作することを目的として会社を設立。特に旅館・ホテル関係のHP作成を得意とし、稼働率アップ、売上アップ、ブランド力向上に貢献してまいりました。また、ネットショップの立ち上げ、運用、売上向上等のサポートを得意とするなど、ネットを活用した利益向上のお手伝いさせていただいています。また、県や市町村のサイトを手掛ける中で、近年は県内外でのイベント事業も請負い、百貨店催事、大型展示会出展、アウトドア型イベント等の企画運営を行い、茨城の食材や地域の発展のために尽力させていただいています。

茨城乳配株式会社

■代表取締役副社長 吉川 国之



Data 所在地／水戸市千波町1821-1
T E L 029-241-1241
F A X 029-241-1244
業 種／物流業
従業員／182名

Appeal point 弊社は昭和40年の創業以来“食”の流通を縁の下で支えております。「安全・安心・共存」という理念を掲げ、全てにおいて『公道をお借りして仕事をさせていただいている』と感謝しながらお客様に喜んでいただける仕事を心掛けました。今後も食品物流を通し、地域社会に貢献してまいります。

株式会社キャリアプラス

■代表取締役 駒橋 達也



Data 所在地／ひたちなか市新光町38番地
ひたちなかテクノセンター4F
T E L 029-212-3308
F A X 050-3730-2823
業 種／人材紹介、採用コンサル、
通所介護
従業員／17名

Appeal point 企業のコアとなるキャリア人材を中心に人材紹介を行っています。特に東京圏の企業で活躍するUターン希望者の紹介に強みがあり、これまで多くの即戦力人材を県内中小企業に紹介してきました。また新卒採用のコンサルティングを行っています。多くの中小企業が優秀な学生を採用するノウハウとマンパワーが不足しています。弊社は培ったノウハウを駆使し、経営者・人事担当者と連携をしながら企業の求める学生獲得に向けサポートします。

株式会社みずほ銀行 日立支店

■支店長 前田 芳男



Data 所在地／日立市幸町1-3-8
T E L 0294-23-3111(代表)
F A X 0294-22-4374
業 種／銀行業
従業員／19名

Appeal point 1974年11月に、日立駅前に支店を開設して40年、私どもは、引き続き、地域の経営者の皆さまに、国内外の様々な情報、経営上の課題解決についての窓口となって参ります。幅広いライブ・ネットワークを通じて、最新の情報をご利用頂けるよう、国内はもちろん、世界中の様々な国や地域で働く「みずほ」のスタッフが、日本のために、茨城のために、と、皆さまのお声掛けをお待ちしております。どうぞ、ご活用を宜しくお願い致します。

役員力

～企業の夢を叶えるために～

3

役員のロールモデル

k2 マネジメント代表取締役 葛田 一雄

勝海舟、ジョン万次郎そして福沢諭吉の3名は偉人として良く知られている。勝海舟、福沢諭吉そしてジョン万次郎、いずれも幕末から明治を生きた傑物として名高い。それでは、笠間藩に生まれた小野友五郎はどうだろうか。小野友五郎は、決して名高いとは言えない、いや、小野友五郎を知る人は少ない。

1. 役目を果たす

知る人ぞ知る。小野友五郎は、茨城の誇りである。近代日本の土台を築いた1人である。小野友五郎は、卓越した倫理観を有し、卓抜した数学の力と科学的判断力を発揮し、幕末から明治時代を生きた人物である。勝海舟、ジョン万次郎および福沢諭吉が偉人であるとしたら、小野友五郎も偉人に列するほどの品格と業績がある。

最初にアメリカに渡った日本の軍艦は咸臨丸であり、咸臨丸の船長は勝海舟である。ところが、勝海舟が航路の大半を船酔いに襲われたことから、船の操舵は航海長の小野友五郎が取り仕切った。小野友五郎を補佐した人物が航海助手兼通訳だったジョン万次郎である。

咸臨丸の役目を終えて帰国した小野友五郎に対する評価

は高かった。小野友五郎は、幕命を受けて再度の渡米をしている。小野友五郎は、軍艦買付の使節団長を拝命する。その時の使節団の一員に福沢諭吉が選ばれている。福沢諭吉の役目は通訳だったが、通訳としてはさほど役には立たなかったようだ。福沢諭吉は、資金を流用して、米国において大量の洋書を購入した。小野友五郎は、資金を流用したとして福沢諭吉を糾弾しているが、維新によって不問となった。福沢諭吉は、購入した洋書をもとに、「西洋事情」などを著わし、世に知られるようになる。

小野友五郎は、明治政府において民部省に勤務し、鉄道の仕事に就いた。鉄道建設のための測量業務に従事した。後に、小野友五郎は、内務卿大久保利通に対し、中央天文台設置を建言している。

2. 役員力を発揮する

製造業を例示する。役員力を発揮する対象は、2つのものがある。仕事に向けた適任者を配置し、計画的に技術を開発して、一人前に育てる。人の能力、材料の持つ機能、設備の性能、この3つを許容水準を超えて発揮させることが第一の対象である。情報の有効活用および資金の有効活用に腐心することが第二の対象である。

第一の対象には、稼働率、作業能率、総合能率が関わる。実績時間を就業時間で割ったものを稼働率（稼働時間割合の評価）という。作業能率とは、標準時間の達成度合いで評価することになる。標準時間とは、定めた作業方法に従い、用意した設備や治工具を使って、所定の品質の製品を一人前の担当者が業務をした時の管理上許容し得る時間のことである。作業能率は、標準出来高時間つまり工数を実績時間で序したものである。人の能力を標準時間の合計を就業時間で割って評価することを総合能率という。総合能率は、稼働率と作業能率を掛けたものでもある。

3. 材料の機能を管理する

材料にはそれぞれに合った機能がある。材料が持つ働き、役割の発揮程度を評価するのが機能である。役員としては、技術的な要素を見極めることも必要であるが、製品化率を評価することがより重要である。製品化率は、設計収率および歩留が尺度となる。設計収率は、定尺材からの原材料切り出し、取り出し割合である。歩留は、収率を含んだ投入原材料と完成品の割合である。要は、投入した原材料を無駄なく使うことである。設計収率や設

計歩留もさることながら不良や廃棄を無くすことで肝心である。

設備の性能を評価は、設備稼働率、性能稼働率、良品率および設備総合効率が要素である。設備総合効率は、設備稼働率×設備性能稼働率×良品率で計算する。設備稼働率は、稼働させるべき負荷時間において実際に稼働した時間の割合であり、設備故障や段取り替え、刃具や治工具交換や調整などは停止ロスである。設備性能稼働率は、設備そのものが有している性能に対する操業の比率である。良品率とは、投入した原材料・部品の内、製品として完成した量である。但し、段取り替えのロス、不良および手直しに消費したものなどは機械が動いていても有効でない稼働分として除かなければならない。

装置産業や大型機械を配置した専用加工ラインの工場の場合には、設備が生産能力とコストの制約となることをわきまえて計画的に設備総合効率を上げなければならない。

4. 情報を有効活用する

さて、役員力を発揮する第二の対象である。情報の役割がより重要になっている。かつて、経営資源とは、人、物、金の3つであるとされていたが、今や、この3つに情報と時間が加わり、5つとなった。

人、物、金を有効活用するためには情報の役割を欠かすことができない。情報の役割を大別すると、計画のための情報および統制のための情報に区分できる。いずれも適時性、正確性および信頼性が高いものでなければならないし、計画のための情報と統制のための情報を一貫性のあるシステムとして構築し、活用しなければな

らない。

時間が経過した後の情報では役に立たないし、不正確な情報あるいは信頼性がない情報では価値がない。一貫性のあるシステムとは、顧客の要求、販売計画、生産計画、生産手配、生産進捗および生産実績それぞれを把握し、しかも評価するための計画、手配および評価の仕組みのことである。つまり、経営資源を有効活用するためには、情報の適時性、正確性および信頼性を確保し、一貫性ある情報システムを構築し、運用することである。

見込生産の場合は、年度計画、月次計画、週次計画および日々計画それぞれの計画に一貫性が求められる。個別生産の場合は、操業度計画、大日程計画、中日程計画および小日程計画それぞれの計画に一貫性が求められる。

5. 役員力を構成するもの

事業を継続的に営むこと、これこそ役員力の基盤である。事業を継続的に営む条件は、利益を上げることである。利益を確保するための大本は、資金を何にどう使うべきかである。資金は活用してこそ価値がある。資金繰りを適切に計画し、余剰資金の有効活用を進める。余剰資金は、損益的支出、運転資金など月次の支払いおよび資本的支出など設備投資や定期的な保全などに支出する資金である。

企業の活動は利益を生み出すものでなければならないし、そのために、役員は役員力を強化し、有効に活用する必要がある。しかしながら、利益が出ている企業が「ホワイト」であり、利益が出ていない企業が「ブラック」ということにはならない。役員には、しなければならないことを成し、してはいけないこ

とはしてはならないことがある。

役員力を構成する要素は、倫理、数学力および科学的判断力である。役員には、利益が出ないとしても、やらなければならないことがある。企業が優れた社格を有するためには経営を担う役員に品格が求められる。役員は、役員である前に一人の人間でなければならない。人の倫(みち)を倫理といい、倫理を尊ぶ人物には徳が備わっている。徳とは、人間の持つ気質や能力に、社会性や道徳性が加味されたものである。役員に人徳がないとしたら企業にも社徳がない。

役員に数学力および科学的判断力があるということは経営を論理的に考える力を持っていることである。経営とは数値と科学を大本とした論理思考の積み重ねである。経営の多くの場面では数値と科学を駆使して予測した計画が必要となる。

小野友五郎の人生は、倫理観に裏打ちされていた。高い倫理観を発現し、卓越した数学の知見および科学的な判断力を発揮して仕事に向き合い、成果を出した人物が小野友五郎である。

小野友五郎は、仕事を成すためには、高い倫理観、卓越した数学の知見および科学的な根拠のある判断力が求められることを後世に伝えている。それゆえに、小野友五郎は、役員のロールモデルになり得るのである。

若者がひきこもりから脱する チャンスをつくるために

茨城NPOセンター・コモンズ常務理事 横田 能洋

前回、就労困難な若者を支援するグッジョブセンターの立ち上げについて紹介させていただきました。お陰様で、この企画が「第三回常陽ビジネスアワード」の地域協創賞をいただけることになりました。すでに、データ入力の仕事がはじまり、町おこし関連の事業で若者の就労支援を組み込めないか、などのお話をいただいています。仕事の提供や実習先としての受け入れに関して各事業所の皆様にご検討ご協力いただければ幸いです。

○仕事以外でご協力いただきたいこと

生活に困窮しながら家で過ごしている若者の中には、一日中無料電話相談にダイヤルし続けている人がいます。そうした電話を私たちは受け、不安な気持ちを受け止めつつ、困窮者支援の窓口につなごうとしているのですが、次のような課題があります。まず、若いということで生活保護が受けられず、収入の見込みがないと福祉資金の借入れも困難で、結局は就労しなさいと言われる。しかし長年引きこもり、ブランクのある履歴書しかかけず体力も落ちている人は、ハローワークでも仕事が見つかりません。結局あきらめてひきこもることになるのです。私たちはそれを防ぐために、外に出て人の役にたち、少しでも糧が得

られる機会をグッジョブセンターでつくっていきます。そこで、多くの団体、事業所の方にご協力をお願いしたいのが、フードドライブという取り組みです。家に眠っている缶詰や麺類、レトルト食品などの食材で正味期限が残っているけれど、このままでは食べずに廃棄になりそうなものをイベント会場などに持ち寄ってもらい、それを地域のフードバンクを経由して食に困っている人や困窮世帯に役立てるのがフードドライブです。ひきこもっている要支援者と支援組織が接点を作る際にも、こうした食材を提供しながら伴走すると徐々に前向きになっていきます。このように食材は、空腹を満たすだけでなく、孤立しがちな人と外部の接点をつくるのにも役立ちます。私たちはフードバンクと連携しながら食品を扱う製造や流通の事業所や、フードドライブを行っていただいた団体を回って食品を運搬したり管理する仕事をグッジョブセンターにくる人の仕事にしたいと考えています。有給の仕事がすぐに得られない若者が、人の役に立ちながら、労働の対価として食材を得られれば、励みにもなります。農家の収穫の補助なども、市場に出せないものを提供いただくと作業に関わった人の糧になると同時に食品を活かせ

ます。

○様々な資源をつないでいきます

また、食品を地域で循環させ福祉に役立てるには運搬に係る燃料費や車両の維持費、倉庫など拠点の維持費も必要です。こちらは食品と合わせ寄付を募っていきます。さらに仕事、食品、資金と併せて重要なのが人です。グッジョブセンターが支援する若者の多くは、対人関係の不安や仕事の経験不足からくる不安がありなかなか動けずにいます。そこで、上記のような食品の運搬にしても、あらゆる作業にしても、最初はサポート役のジョブトレーナーがついて、作業手順を教えたり励ましたりしながらトレーニングを行います。このトレーナーを担う人が多く必要になります。企業には人材育成に関わる方が多くおられると思います。特に企業を退職し地域に入っていかれる方などに、ぜひトレーナーとしてご協力いただければ、若者の力を引き出すことができると考えています。グッジョブセンターとのコンセプトは、NPOと企業のコラボレーションです。少しでもご協力頂けることがありましたらコモンズまでご連絡下さい。

(TEL: 029-300-4321

担当 横田、石関)

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



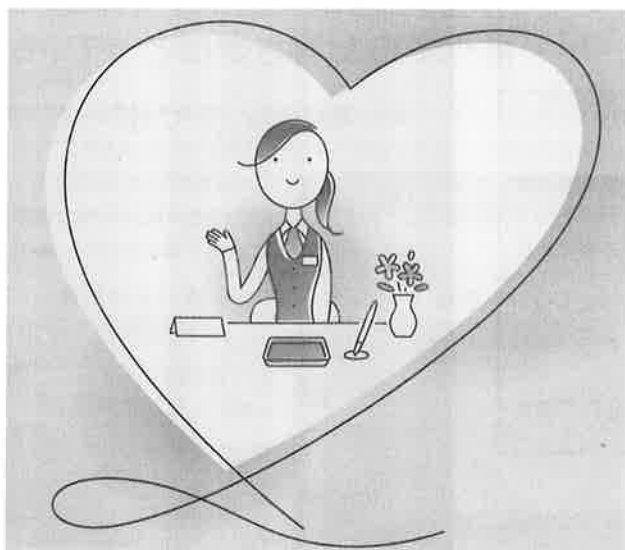
筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問い合わせください＝

セミナー名	日時・会場	テーマ・内容・講師
マナーアップ&クレーム対応セミナー	6月25日(木) 9:30～16:30 7,000円 茨城産業界会館	状況に応じたビジネスマナーを、実践しながら学ぶ ①第一印象をよくするために ②挨拶とその重要性 ③言葉遣い ④電話応対 ⑤来客応対/訪問のマナー ⑥クレーム対応等 (株)EMMY 代表取締役 渡辺満枝氏
県西地区支部 経営研究会 営業セミナー	6月22日(水) 14:00～16:00 3,000円 ピアスパークしもつま	主導権を握るセールストーク ～誰でも8ステップで9割とれる～ Accept代表・トップセールス育成塾 塾長 赤嶺 哲也氏
職場リーダー グレードアップ セミナー	7月23日(木) 9:30～17:00 8,000円 茨城県産業会館	部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ (株)ビジネスラポール 代表取締役 鈴木丈織氏
第2回営業社員 セミナー	①8月18日(火) ②8月24日(火) 9:30～16:30 全講 14,000円 単講 8,000円 茨城県産業会館	①営業の基本～成約までのポイント、アフターフォロー ②新規開拓・飛込み営業の極意～モチベーションアップの法則 浦上 俊司氏
第14期マネジメントマスターコース	①9月4日(金) ②9月11日(金) ③9月18日(金) ④9月30日(水) 13:30～17:00 全講 28,000円 単講 8,000円 茨城県産業会館	①役員は変革しなければならない ②役員に必要な法律知識 ③B S、P L & 有価証券報告書を読み解く ④役員として、清く、正しく、強くあれ ①、④(株)ケーツーマネジメント代表 葛田 一雄氏 ②弁護士 山口 宏氏 ③公認会計士・税理士 松下 芳男氏

問 合 せ

一般社団法人 茨城県経営者協会

〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109

ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp